

時間割コード	G2B45412	開講年度	2026				
授業題目	翻訳を通してことばと文化を考えるゼミ					担当教員	兼元 美友
英文授業名	Introductory Seminar on Translation						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生	全
講義室	共通教育40講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP						
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力				⇔	・翻訳作業を通して、正確な日本語を意識して発信できるようになる ・翻訳に関する情報を的確に理解し、問題点や改善策を発表できるようにする	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際理解)						
(4)授業の概要	翻訳作業では、「ことば」についての知識はもちろん、その言葉が話されている国や地域の「文化」への十分な理解が不可欠です。それと同時に、翻訳を通して、ことばと文化についての認識がより深まることにも気づかされます。 このゼミでは、多岐にわたる現代の翻訳分野を概観しつつ、目的に合った訳し方のコツを学んだり、字幕・吹替翻訳に挑戦したり、と積極的に作業してもらいます。その後、各自の興味に沿ったテーマを選び、問題点を発見し、自分なりの解決法を考えます。学期末にはプレゼンテーションを行い、考察の結果を共有します。						
(5)授業のキーワード	産業翻訳、映像翻訳、課題発見・解決、グループワーク						
(6)授業計画	Week 1 ガイダンス Weeks 2-4 文芸翻訳と産業翻訳の違いを知る Weeks 5-6 英作文からの脱却ー発想の転換による「日英翻訳」 Weeks 7-11 「トランスクリエーション・映像翻訳」に挑戦（ドラマ、映画） Weeks 12-13 プレゼンテーション準備 Week 14 プレゼンテーションの実施と分析 Week 15 プレゼンテーションの実施と分析、授業アンケート 受講生の状況に応じて、順番や一部の内容を変更する場合があります。						
(7)成績評価の方法	・リアクションペーパー 20点 ・課題・練習問題への取り組み 40点 ・各自の分析とプレゼンテーション：40点 (内訳 分析の内容とプレゼンの完成度：35点、評価シートの提出：5点)						
(8)成績評価の基準	『卓越している』：学修内容を深く理解した上で応用し、自ら収集した適切な例を用いて論理的・説得的にオリジナルな主張を展開することが出来る。 『かなり上にある』：学修内容を深く理解した上で応用し、適切な例を用いて論理的・説得的な主張を展開することが出来る。 『やや上にある』：学修内容を正しく理解し、適切な例を用いて論理的・説得的な主張を展開することが出来る。 『その水準にある』：学修内容を正しく理解し、適切な例を用いて論理的な主張を展開することが出来る。						
(9)事前事後学習の内容	ゼミで学修したテーマに応じて、実際に翻訳をしてもらう課題を出します。						
(10)履修上の注意	課題・練習は、ゼミの中で自発的に考える作業をするために不可欠です。自分の力でしっかり取り組みましょう。 ゼミの時間内に行う作業やプレゼンテーションが成績の大部分を占めるため、遅刻・欠席をすると、大きく評価を落としてしまいます。注意して下さい。						
(11)質問,相談への対応	まずはメールで連絡してください。 (kanemoto@shinshu-u.ac.jp)						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・4回以上欠席した場合は、このゼミの達成目標に到達することができないため成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され授業に出席できなかった場合は、欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により授業に出席できなかった場合は、欠席とします。						

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断された場合は、健康安全センターからのメールを教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください。 ・「学修の補充の対象とする事由」により出席できず、補充を希望する場合は、『共通教育履修案内』に掲載されている方法により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	教科書は指定せず、教員が準備する教材を使用します。
【参考書】	ゼミの中で適宜紹介します。